



## 2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月12日

上場会社名 株式会社Sun Asterisk 上場取引所 東  
 コード番号 4053 URL https://sun-asterisk.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小林 泰平  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 服部 裕輔 TEL 03(6419)7655  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	3,632	34.7	782	42.6	839	48.8	718	43.5
2020年12月期第2四半期	2,697	—	548	—	564	—	500	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 820百万円 (70.1%) 2020年12月期第2四半期 482百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	19.37	17.76
2020年12月期第2四半期	14.80	—

- (注) 1. 当社は、2020年3月31日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しています。  
 2. 2020年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2020年12月期第2四半期末において非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載していません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	7,182	5,904	82.2
2020年12月期	6,216	5,017	80.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 5,904百万円 2020年12月期 5,017百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,608	23.1	1,100	24.1	1,153	24.5	983	22.3	26.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	37,662,100株	2020年12月期	36,840,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	20株	2020年12月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	37,117,047株	2020年12月期2Q	33,855,780株

(注) 当社は、2020年3月31日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは「誰もが価値創造に夢中になれる世界」をビジョンに掲げ、デジタル・テクノロジーとクリエイティブを活用できる最適なチームを編成し、あらゆる産業のデジタルライゼーションを促進するデジタル・クリエイティブスタジオです。

当社グループがサービスを提供するデジタル・クリエイティブスタジオ関連市場においては、ビッグデータ、人工知能（AI）、ブロックチェーン等の市場の拡大が引き続き見込まれる一方で、国内でこれらの開発を担う人材の不足が懸念されています。また、新型コロナウイルスの感染拡大以降の世の中において、サービスのデジタル化が進み、生活における様々な場面においてデジタルトランスフォーメーションが進んでいます。

こうした経営環境の中、当社グループは、顧客の課題に応じて必要なサービスを提供すべく、「デジタル・クリエイティブスタジオ事業」という単一セグメントの中で、顧客と一緒にデジタルプロダクトを創造していく「クリエイティブ&エンジニアリング」と、デジタルプロダクトの創造に必要な人材を発掘・育成し、顧客に輩出していく「タレントプラットフォーム」という2つのサービスラインを展開し、中期経営計画に基づき、顧客数及び顧客単価の拡大を重点課題として取り組んでいます。

「クリエイティブ&エンジニアリング」においては、既存顧客からの継続・安定した堅調な受注と、新規顧客の増加が継続していることにより、当第2四半期連結累計期間におけるストック型顧客数は92社、顧客単価は4,435千円、売上高は3,032,294千円となりました。「タレントプラットフォーム」においては、企業の採用意欲が軟調に推移したことにより、売上高は599,880千円となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高3,632,175千円（前年同期比34.7%増）、売上総利益1,895,129千円（前年同期比31.1%増）、営業利益782,342千円（前年同期比42.6%増）、経常利益839,775千円（前年同期比48.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益718,821千円（前年同期比43.5%増）となりました。

なお、当社グループは、デジタル・クリエイティブスタジオ事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載していません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は7,182,432千円となり、前連結会計年度末に比べ965,524千円増加しました。これは主に、「クリエイティブ&エンジニアリング」売上の増加により現金及び預金が674,149千円、売掛金が157,918千円増加したこと及び投資有価証券の取得により92,484千円増加したことによるものです。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は1,277,957千円となり、前連結会計年度末に比べ78,875千円増加しました。これは主に、買掛金が62,181千円、賞与引当金が132,383千円、前受金が63,323千円が増加し、未払費用が51,289千円、短期借入金が30,000千円、長期借入金が101,679千円が減少したことによるものです。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は5,904,474千円となり、前連結会計年度末に比べ886,649千円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加718,821千円、新株予約権の行使による資本金の増加32,925千円、資本剰余金の増加32,925千円によるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,501,612千円減少し、2,569,250千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は728,007千円（前年同期は472,867千円の収入）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益839,775千円の計上、賞与引当金の増加額129,667千円の計上、仕入債務の増加額62,021千円の計上等があったものの、売上債権の増加額148,736千円、未払費用の減少額53,417千円、未払消費税等の減少額46,910千円があったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は2,175,474千円（前年同期は277,872千円の支出）となりました。これは、定期預金の預入による支出3,336,935千円及び投資有価証券の取得による支出90,447千円、定期預金の払戻による収入1,285,103千円があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は65,966千円（前年同期は358,347千円の収入）となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行による収入65,768千円、短期借入金の返済による支出30,000千円、長期借入金の返済による支出101,679千円があったこと等によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月10日の「2020年12月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,073,055	5,747,204
受取手形及び売掛金	583,546	741,464
仕掛品	15,733	50,287
その他	133,065	136,710
貸倒引当金	△9,951	△13,585
流動資産合計	5,795,449	6,662,082
固定資産		
有形固定資産	72,134	80,240
無形固定資産		
のれん	80,760	75,712
その他	37	—
無形固定資産合計	80,797	75,712
投資その他の資産		
投資有価証券	169,776	262,261
繰延税金資産	8,567	6,854
その他	110,367	119,486
貸倒引当金	△20,185	△24,856
投資その他の資産合計	268,526	363,745
固定資産合計	421,458	519,699
繰延資産	—	650
資産合計	6,216,907	7,182,432
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	141,908	204,090
短期借入金	30,000	—
1年内返済予定の長期借入金	179,133	123,874
未払金	23,894	17,077
未払費用	188,441	137,151
未払法人税等	70,428	118,558
前受金	154,042	217,365
賞与引当金	28,479	160,863
その他	194,437	155,414
流動負債合計	1,010,765	1,134,395
固定負債		
長期借入金	153,327	106,907
資産除去債務	20,027	20,695
その他	14,962	15,959
固定負債合計	188,316	143,562
負債合計	1,199,082	1,277,957

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,668,460	1,701,385
資本剰余金	1,653,460	1,686,385
利益剰余金	1,750,638	2,469,460
自己株式	—	△55
株主資本合計	5,072,558	5,857,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,350	428
為替換算調整勘定	△53,756	46,579
その他の包括利益累計額合計	△55,107	47,007
新株予約権	374	291
純資産合計	5,017,825	5,904,474
負債純資産合計	6,216,907	7,182,432

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	2,697,411	3,632,175
売上原価	1,251,429	1,737,045
売上総利益	1,445,982	1,895,129
販売費及び一般管理費	897,384	1,112,786
営業利益	548,598	782,342
営業外収益		
受取利息	4,408	32,736
為替差益	12,296	24,186
助成金収入	6,534	1,942
その他	151	385
営業外収益合計	23,391	59,250
営業外費用		
支払利息	1,679	830
上場関連費用	5,005	—
投資有価証券評価損	—	526
その他	917	461
営業外費用合計	7,602	1,817
経常利益	564,387	839,775
税金等調整前四半期純利益	564,387	839,775
法人税等合計	63,470	120,953
四半期純利益	500,916	718,821
親会社株主に帰属する四半期純利益	500,916	718,821



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	500,916	718,821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△982	1,778
為替換算調整勘定	△17,268	100,335
その他の包括利益合計	△18,251	102,114
四半期包括利益	482,665	820,936
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	482,665	820,936
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	564,387	839,775
減価償却費	27,705	25,069
のれん償却額	5,047	5,047
繰延資産償却額	—	650
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	526
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,557	8,159
賞与引当金の増減額 (△は減少)	72,729	129,667
受取利息	△4,408	△32,736
支払利息	1,679	830
売上債権の増減額 (△は増加)	△154,854	△148,736
たな卸資産の増減額 (△は増加)	92,321	△34,031
仕入債務の増減額 (△は減少)	△21,270	62,021
その他の資産の増減額 (△は増加)	△128	6,708
未払消費税等の増減額 (△は減少)	10,199	△46,910
前受金の増減額 (△は減少)	△2,212	18,757
未払金の増減額 (△は減少)	△388	△6,888
未払費用の増減額 (△は減少)	△53,748	△53,417
その他の負債の増減額 (△は減少)	△782	△4,417
小計	542,834	770,077
利息の受取額	4,408	32,736
利息の支払額	△1,679	△830
法人税等の支払額	△72,695	△73,974
営業活動によるキャッシュ・フロー	472,867	728,007
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△215,274	△3,336,935
定期預金の払戻による収入	26,216	1,285,103
有形固定資産の取得による支出	△21,564	△31,443
投資有価証券の取得による支出	△55,751	△90,447
その他	△11,498	△1,751
投資活動によるキャッシュ・フロー	△277,872	△2,175,474
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	△30,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△143,253	△101,679
株式の発行による収入	501,600	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	65,768
その他	—	△55
財務活動によるキャッシュ・フロー	358,347	△65,966
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,514	11,820
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	543,828	△1,501,612
現金及び現金同等物の期首残高	2,218,818	4,070,862
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,762,646	2,569,250

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社NEWhを連結の範囲に含めています。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金が32,925千円、資本剰余金が32,925千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,701,385千円、資本剰余金が1,686,385千円となっています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっています。

(追加情報)

国内において、依然として収束時期等の予測は困難であります。前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴う会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは、デジタル・クリエイティブスタジオ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。